

【報告】

## 高等教育研究センター 平成27年度活動報告

豊 後 宏 記

The 2015-16 Higher Education Research Center Activity Report

Hiroki Bungo

### 1. 構成員

- センター長 小西 忠男 (グローバルコミュニケーション学科教授)  
委 員 橋村 勝明 (初等教育学科教授, 学生サポートセンター長)  
今崎 浩 (初等教育学科教授, 教職センター長)  
田村 進 (心理学科教授, 入試・広報センター長)  
Caleb Foale (Bunkyo English Communication Center センター長, 教授)  
溝渕 淳 (人間福祉学科准教授, 教務委員長)  
高橋 泰道 (初等教育学科学科長, 教授)  
[FD 部会] 豊後 宏記 (教養教育部教授, 学習支援室長)  
[IR 部会] 藤井 律子 (人間栄養学科教授)  
山田三千夫 (学長室長)  
渡川 智浩 (学生サポート課係長)  
所 掌 部 署 総合支援課 高橋 早苗 (課長)  
同 山根 就

### 2. 研修会の企画・実施

#### [FD・SD 研修会]

高等教育研究センターでは平成26年度に引き続いて、教育研究のための研修会を開催した。分科会では26年度と同様、参加人数に制限を設け、申し込み制にすることで、FD に対する強い動機・問題意識を持つ参加者を募り、また、少人数開講によって、着実な知識・技術の定着を図ろうと意図した。ただし、開催方式については26年度のものを見直し、次のような改善を行った。

- ・26年度は授業開講期に開催していたが、授業、校務等で参加が難しかった点を考慮し、夏期や春期などの長期閉講中に開催することによって、参加者の増加を図り、また、開講中は教育に集中し、閉講中はFD によって教育力を高めるという意識付けを行う。
- ・昨年度の調査に基づいて、ニーズの高い講座を開講すると同時に、受講者は少数であっても開講すべき講座については開講する。特に、教育力を高めるための講座に焦点化し、テーマを設定する。またSD の面でも充実を図る。

[夏期 FD・SD 研修会]

第1回 日時：平成27年8月17日(月)10：00～15：00

分科会 10：00～11：00

A. 「データから考える休退学の傾向と学生支援の方策」

講師：松高 由佳 (学生相談室長)

場所：8号館831教室 参加者数：5名

B. 「GPAの現状と課題」

講師：橋村 勝明 (高等教育研究センター運営委員)

場所：8号館833教室 参加者数：5名

C. 「学生による授業評価の結果分析と今後の在り方」

講師：田村 進 (高等教育研究センター運営委員)

場所：8号館835教室 参加者数：6名

全体研修会 13：00～15：00

「Glexaの活用事例と実践」

講師：VERSION2

場所：6号館621教室 参加者数：25名

第2回 日時：平成27年8月24日(月)10：00～15：00

分科会 10：00～11：00

A. 「教職に係る進路指導の取組」

講師：佐伯 育郎 (教職センター幼・小教諭専門部会長)

場所：8号館831教室 参加者数：6名

B. 「ルーブリック評価導入の意義とその実際」

講師：今崎 浩 (高等教育研究センター運営委員)

場所：8号館833教室 参加者数：5名

C. 「授業ならびに業務支援のための Office365 の活用」

講師：斎藤 秀樹 (総合支援課情報担当)

場所：835教室 参加者数：9名

全体研修会 13：00～15：00

「アセスメントテストの結果から見える本学学生の実態について」

講師：藤井 公雄 (株式会社ベネッセキャリア 教育事業本部)

場所：6号館621教室 参加者数：25名

[冬期 FD・SD 研修会]

第1回 日時：平成28年2月25日(木)10：00～15：00

分科会 10：00～11：00

A. 「アクティブラーニングを促す iPad の活用法」

講師：高橋 泰道 (高等教育研究センター運営委員)

場所：4号館421教室 参加者数：20名

B. 「コモンルーブリックの必要性と本学における展開」

講師：溝渕 淳 (高等教育研究センター運営委員)

場所：422教室 参加者数：11名

C. 「公用文作成時の留意事項」

講師：高橋 早苗 (総合支援課長)

場所：4号館423教室 参加者数：11名

全体研修会 13：00～15：00

「不登校の学生への支援を考える」

講師：学生相談室

場所：6号館621教室 参加者数：40名

第2回 日時：平成28年2月26日(金)10：00～15：00

分科会 10：00～11：00

A. 「教学IRの意義と学生調査にもとづく教育改善」

講師：藤井 律子（高等教育研究センター運営委員）

場所：4号館421教室 参加者数：19名

B. 「学習支援室、今後の課題—学生アンケートから見えてくるもの」

講師：豊後 宏記（学習支援室長）

場所：422教室 参加者数：13名

C. 「授業ならびに業務支援のためのOffice365の活用」

講師：斎藤 秀樹（総合支援課情報担当）

場所：4号館423教室 参加者数：12名

全体研修会 13：00～15：00

「入試動向とキャリア・アセスメントテスト」

講師：藤井 公雄（株式会社ベネッセキャリア 教育事業本部）

場所：6号館621教室 参加者数：42名

〔平成27年度 学内研修会〕

日時：平成28年3月10日(木)13：00～15：30 場所：6号館621教室

〔挨拶〕

高等教育研究センター長 小西 忠男

1. BMS 大学部門報告『三つのポリシーに基づく教育の質的転換と入学者選抜改革』

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| I 概要                   | 田村 進  |
| II 適切な成績評価法の検討         | 藤井 絃子 |
| III 質的転換の実現状況把握のためのIR  | 渡川 智浩 |
| IV 高大接続答申を踏まえたAO入試の在り方 | 田村 進  |
- <休憩>

2. 平成27年度教育・研究活動支援プログラム報告

- |  |       |
|--|-------|
| I グローカル人材の創出を目指した Nutraceuticals の海外研修型<br>PBL (Project-Based Learning) の実践と検証 | 藤井 律子 |
| II 「人間栄養学科学学生による食を通じた社会貢献の活動事例集」作成   | 黒川 知則 |
- 〔総評〕 学長 角重 始

### 3. 授業評価アンケート・学修状況調査アンケート

本学では平成13年度より授業やカリキュラムを改善し教育内容の質の向上をはかるため、学生による「授業評価アンケート」を実施している。平成27年度は、26年度に改定された方式により実施された。

実施期間：前後期の最終第15週目の授業期間から試験期間までの二週間。

前期—平成27年7月18日(土)～7月31日(金)

後期—平成28年1月18日(土)～1月29日(金)

実施方法：学生に配布されている iPad もしくは学内に設置されたパソコンから学内 LAN にアクセスし回答する。

対象科目：原則として、iPad が配布されている 1～3 年生の必修科目・選択必修科目。希望があれば 4 年生の必修科目・選択必修科目も対象科目とし、学内設置のパソコンから回答するよう指導した。

アンケート質問項目：

設問 1 教員は、学生の理解度や授業態度などを考慮して、教材を工夫したり、学生の考えや疑問などを授業に反映させたりするなど、適切に授業を運営していましたか。

設問 2 教員は、学生が授業に積極的に参加できるように、iPad などを活用したり、グループ学習などで学生の意見の発表やディスカッションを実施したりしましたか。

設問 3 シラバスの記述や、授業での教員の説明などで、どのような事前学修や事後学修に取り組みばよいか理解できましたか。

設問 4 授業内容をよく理解するための支援では、どのような内容が有効でしたか。

設問 5 この授業を受けて、シラバスに到達目標として掲げられている知識や能力を獲得できたと思いますか。

なお、「授業評価アンケート」と並行して「学修状況調査アンケート」も実施した。実施期間・対象・実施方法は、「授業評価アンケート」と同様であるが、学生一人につき一回の回答でよいので、学科ごとに授業時やチュータータイムなどを利用し、できるだけ 1～3 年生全員に回答させるようにしてもらった。アンケート質問項目は次の通りである。

設問 1 あなたが、前期（後期）に履修登録した科目数を教えてください。

設問 2 あなたが、前期（後期）に取得する予定の単位数を教えてください。

設問 3 あなたは、前期の期間中、1 週間あたり平均何時間、授業時間以外の学修をしましたか。

「授業評価アンケート」「学習状況調査アンケート」の結果は高等教育研究センター IR 部会において集約・分析され、今後 FD 活動を推進するためのデータとして活用される。

#### 4. 学会・シンポジウム等への出席

高等教育センターでは、高等教育の研究・開発に関する学会・シンポジウム等に、センター委員だけでなく関連する委員会の委員などを積極的に出席させ、そこで得られた知見を高等教育研究センター運営委員会で報告させた。

「IED 高等教育研究フォーラム 「教育中心の大学組織」」

一橋大学一橋講堂，平成27年 3 月26日（木）

出席者：橋村 勝明

出張報告：第 1 回センター運営委員会（平成27年 4 月22日（水））

「大学教育学会 第37回大会」

長崎大学文教キャンパス，平成27年 6 月 6 日（土）・7 日（日）

出席者：藤井 律子

出張報告：第 3 回センター運営委員会（平成27年 6 月10日（水））

「New Education Expo 2015」

大阪マーチャングाइズマート，平成27年 6 月19日（金）～20日（土）

出席者：橋村 勝明，今崎 浩

出張報告：第 4 回センター運営委員会（平成27年 7 月 8 日（水））

「大学経営における競争戦略から見た IR 実践セミナー@福岡」

福岡ビル，平成27年 7 月10日（金）

高等教育研究センター 平成27年度活動報告

出席者：渡川 智浩

出張報告：第5回センター運営委員会（平成27年8月11日(水)）

「第14回広島県大学フォーラム ～教育改革と高大連携～」

中国新聞ビル，平成27年10月10日(土)

出席者：橋村 勝明，田村 進

出張報告：第7回センター運営委員会（10月13日(火)）

5. 刊行物

「広島文教女子大学紀要」第50巻

平成27年12月21日 発行 編集委員：藤井 律子

「広島文教女子大学 高等教育研究」第2号

平成28年3月1日 発行 編集委員：豊後 宏記